

左近山ファミリー

朝の散歩が気持ちいい。左近山では、いっぱいの花、緑、太陽に囲まれ、多くの風、音、光、匂い、香り、を感じることができる。

時を告げる鐘楼の音に合わせて子供達がみんなの道を駆け抜ける横で、みんなの広場の陽だまりの中、いつものように健康器具でストレッチ。

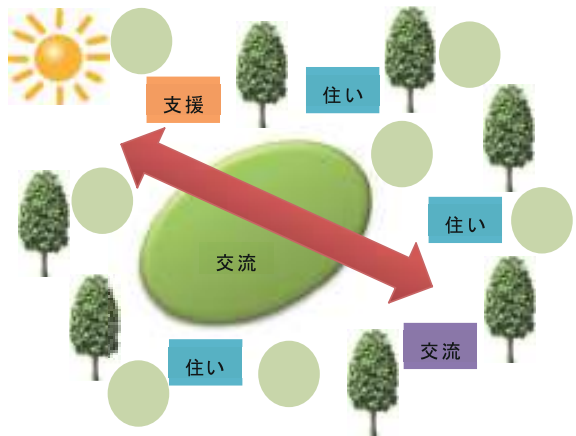
いつしか家事が一段落のママ達が、みんなの広場で木漏れ日の中、子どもたちを見守りながらモーニングカフェで情報交換。

左近山ファミリーの魅力いっぱいの一日は、左近山団地に多様な世代が住み、学び、交流できる地域としての再生へ、確実に歩み始める。

住民の高齢化、空き家増の中、左近山団地再生へ向け、「つどう」「つながる」「さしのべる」が、魅力ある「緑・子ども・若いママを大事にする団地」「豊かで楽しい時を過ごす団地」を作り出す。

「花と緑の左近山～花と緑と太陽がいっぱい」

環境整備のマスタープランより、軸、重点地区、歩行者通路を意識して、緑が多く、子どもがのびのび育つ環境、子育て世代の魅力ある環境をつくりだす。



ここでは、高齢者の方々が年齢を重ねてきた経験を、団地の人に提供し貢献することにより、役割を以って社会参加している意識を持つことができる。

⇒Age-ing to Sage-ing

奥様方は、共同でできるコミュニティビジネスを始めることにより、共通の話題・活動を作り、団地住民間のコミュニケーションを促進できる。

⇒一緒にお茶する時間、食事する時間、活動する時間が増える

そして、魅力ある左近山団地を目指し環境、交流、支援、情報、維持、防災をキーワードとし、様々な仕掛けを工夫する。

環境：花・緑・太陽、風、音、光、匂い、香り
交流：ひろば、道、空き家(同好会)、シェア
支援：ボランティア(子ども、若いママ、高齢者)
情報：空き家(教室)、広報、アナウンス
維持：自然、住環境、建物維持、インフラ
防災：避難拠点、防災施設、防災設備



自然、人、空間、建物、今あるものを最大限生かし、つくりたい再生を目指す。そして、様々な仕掛けと団地住人の全員参加の意識、行動は、「つどう」「つながる」「さしのべる」となり、ボランティアやコミュニティビジネスが、新たなコミュニケーションを生む。新たな絆でつながった左近山ファミリーの元気な声、活動が、左近山団地を再生させる。

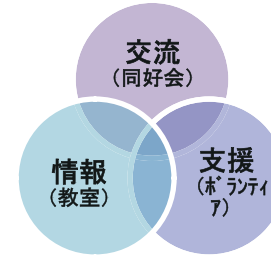
つどう つながる さしのべる

- つどう(出会い、にぎわい、滞留)
 - ・空き家対策により転入者を増やし、退出者を減らす
 - ・魅力有る仕掛けを実践する
 - ・集う場、集う話題、集うイベントを創設する
 - ・豊かな自然環境を維持し、魅力ある環境を作り出す
- つながる(交流、共同、シェア)
 - ・多様な世代が住み、学び、交流できる団地を目指す
 - ・施設、運営でシェアする
 - ・高齢者の社会参加を促す
 - ・奥様ができるコミュニティビジネスを創設する
- さしのべる(協力、支援、分担)
 - ・高齢者、子ども、子育てママにやさしく接する
 - ・人生経験を生かす場を設ける
 - ・経験を生かす場を設ける

みんなで参加アンケート

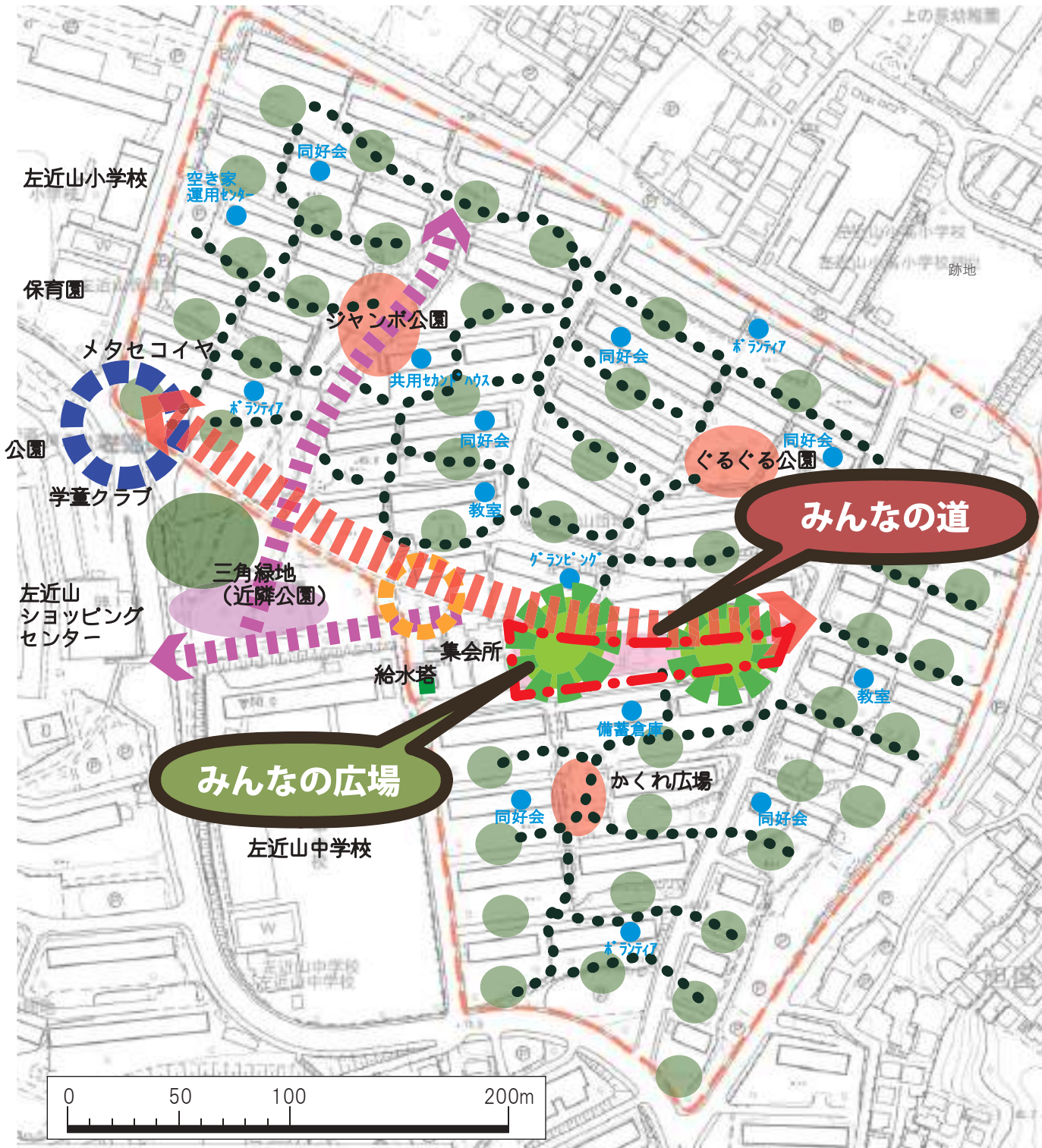
みんなで、プログラム作り、左近山ファミリーアンケートを実施。

- ・交流を促す同好会への参加希望を募集する
- ・情報を提供できる方々への分野調査及び協力を依頼する
- ・支援をいただける方々への協力を依頼する



項目	内容
アンケート実施日時	2023年10月10日(火)～10月15日(日)
実施場所	左近山小学校、左近山中学校、シヤンボ公園、ぐるぐる公園
実施対象	左近山ファミリー(住民、ボランティア)
実施方法	紙質アンケート、デジタルアンケート
実施結果	回収率: 85% (紙質)、70% (デジタル)
実施感想	多くの皆様から貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

項目	内容
アンケート実施日時	2023年10月10日(火)～10月15日(日)
実施場所	左近山小学校、左近山中学校、シヤンボ公園、ぐるぐる公園
実施対象	左近山ファミリー(住民、ボランティア)
実施方法	紙質アンケート、デジタルアンケート
実施結果	回収率: 85% (紙質)、70% (デジタル)
実施感想	多くの皆様から貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。



提案① 外部空間改善の考え方 (コンセプト)

- 若い世代と子供たちを楽しんでもらう外部環境整備
- 樹木の剪定や花による演出
- 子供が遊び家族が食事する場所の提供
- 高齢者の健康器具やベンチ、運動施設の敷設

- 自然環境を生かす: 緑、水(井戸)、音(鳥、虫)、光、風、匂い、土地(形状、傾斜)
- 子ども、若い世代に優しく: 広場、道、はらっぱ
- 記憶に残す: 花、緑、鐘楼
- 非日常を生み出す: バーベキュー、グランピング
- 多世代、多用途に対応: 居間&庭、憩&遊び、寛ぎ&交流、活動&思い出、情報&シンボル
- 様々な季節、時間帯に対応: 寒さ、暑さ、明、暗

外部空間改善への具体的な提案

1. 空間(隣棟間)を生かすために、地表面(芝、植込み)の整備及び棟間をつなぐ仕掛けを施す
2. 建物にも、空き家バルコニーにサインやイルミネーション、妻壁にはプロジェクションマッピングを計画する。
3. 植栽を生かす又は遮蔽を無くすことによる、緑を工夫する。
4. 生活道は、ベビーカーを押し易く、車いすが擦れ違える幅員とする。
5. 散策路(ウォーキング)には溜まりを設け、健康遊具やベンチを設置。
6. 生活道、散策路は、みんなの道を核として、葉脈のように団地全体をつなげ、適宜フットライト(太陽光)で安心、安全、記憶に残る修景を生み出す
7. みんなの広場、みんなの道等、道と広場のネーミングにより親しみを生み出す。
8. I期整備地区整備は、みんなの広場、みんなの道を中心とした整備により、様々なイベントを演出するほか、防災拠点としての機能を持つ。
9. 三角広場では、植物園、ミニ動物園、バードウォッチング、菜園、ドッグラン等の設置で多用途の利用を生み出す。
10. 給水塔は、鐘及び壁面緑化により、鐘楼として団地全体のシンボルとして蘇り記憶に残す。

提案② コミュニティ活性化に資する空き家活用のイメージ (システム)

- 空き家対策により転入者を増やし団地の賑わいを取り戻す
- 空き家の実態を調査: 実態調査、所有者の意向、入居者調査
- 再編: 地域活動の核、団地全体の取り組み、情報発信
- オーナー意向アンケート(参加型)により活用を探る

- 自己使用の活性化: 子世代住居、セカンドハウス等
- 買い取りの活性化: 備蓄倉庫、共有セカンドハウス、運用センター
- レンタルによる活性化: 賃貸住宅、店舗、事務所、倉庫、オフィス、教室等
- シェアによる活性化: 同好会・サークル、ゲストハウス、図書室、グルーミングルーム、各種情報センター
- 運営による活性化: ブックシェア、不用品シェア、ソーシャルビジネスの拠点、空き家ビジネス、住み替え促進

住民参加型への具体的な提案

1. みんなで参加アンケート調査を活用する。
2. 空き家運用センターを創設し、空き家の活用を多角的に検討、提供する。
3. 交流(同好会)の場: グルメ、ワイン、囲碁、将棋、陶芸、絵画、写真、工房、麻雀、カラオケ、おやじバンド、映画鑑賞等で楽しむ。
4. 情報(教室)の場: 学習教室、習字、英会話、音楽、料理、フラワーアレンジメント、手芸、書道、華道、茶道、パソコン、手話、ヨガ、手品、日曜大工等の情報を提供する。
5. 支援(一般ボランティア、シルバーボランティア、リタイヤボランティア)制度: 子どもとの交流、生活支援等に、お年寄りの活動、経験を活かす、能力の継続等の場を構築する
6. 共用の運用: 共有セカンドハウス(グランピング)、備蓄倉庫等を運用する。

提案③ I期整備地区の整備計画

左近山ファミリーの記憶に残る整備計画を提案

「つどろ」「つながる」「さしのべる」が、緑・子ども・若いママを大事に豊かで楽しい時を過ごす団地の核として、I期整備地区を再生します。

1. 左近山団地の核として、みんなの広場、みんなの道を軸とした交流の拠点として整備する。
2. 集会場前広場は拡張して、大きな芝張りのひろば（はらっぱ）として再生する。
3. プールは子どもが遊ぶじゃぶじゃぶ池として再生する。
4. 交通公園は、陽だまりデッキ、木漏れ日テラスとし、ベンチ、健康器具、パラソル、タープ、バーベキューコーナーを活用した寛ぎの場とする。
5. 防火シェルター（パーゴラ）、井戸、マンホールトイレ、かまどベンチ、外灯（太陽光パネル付）、などを設置し、防災拠点として整備する。
6. 各種イベント、モーニングカフェ、バーベキュー、芋煮会、太極拳、マルシェ、屋台などための給排水及び電気インフラを整備する。
7. 給水塔は鐘楼として再生し、壁面緑化と共にみんなの記憶に残るシンボルとする。

